

総額351億7千100万円

新年度予算は、3月5日に開会した市議会定例会に上程、26日に各上程議案が可決され、閉会しました。

一般会計予算

一般会計予算規模の総額は、前年度一般会計当初予算(137億9千800万円)に比べて、4.2%減(5億7千400万円)の132億2千400万円となっています。

本市の平成22年度普通会計決算では、単年度収支が2億4千167万円の赤字となり、平成21年度普通会計決算以上に実質収支における赤字額の解消を図ることができませんでした。しかし、累積の赤字額は、まだ約2億9千400万円を計上しており、今後、国の政策や経済状況等によりましては、継続的に単年度収支を黒字化することが難しい状況も予想されますので、計画推進中の集中改革プラン(第二幕)に掲げておりますそれぞれの取り組みを着実に実行し、累積赤字の解消を図るとともに継続的に単年度黒字を計上できるようにしていかねばなりません。

平成24年度の予算編成に当たっては、健全な財政状況への確実な進捗に向け「継続的な単年度収支の黒字化」をテーマにしつつ、喫緊の課題である防災・減災対策を中心に、本市の重要課題である「安全・安心のまちづくり」に重点を置いた予算編成としました。

【産業の振興】

☆徳島東部地域観光振興事業、戸別所得補償経営安定推進事業、県単独農業振興事業、農地・水・環境保全向上対策事業など。

【働きたい人が働ける環境づくり】

☆緊急雇用創出事業、シルバークンセクター運営補助事業など。

【快適に暮らせる生活基盤の整備】

☆市営住宅長寿命化計画策定事業、民間住宅リフォーム事業、小集落外壁改修事業、市道整備事業、防衛施設周辺整備事業など。

【魅力ある都市基盤の整備】

☆都市計画マスタープラン策定事業、高速道路対策事業など。

主な普通建設事業は次のとおりです

(百万円未満は四捨五入)

☆都市基盤整備事業 1億400万円

☆消防施設整備事業 4億700万円

☆公営住宅整備事業 2千600万円

☆庁舎・福祉施設整備事業 1千400万円

☆文教施設整備事業 2千700万円

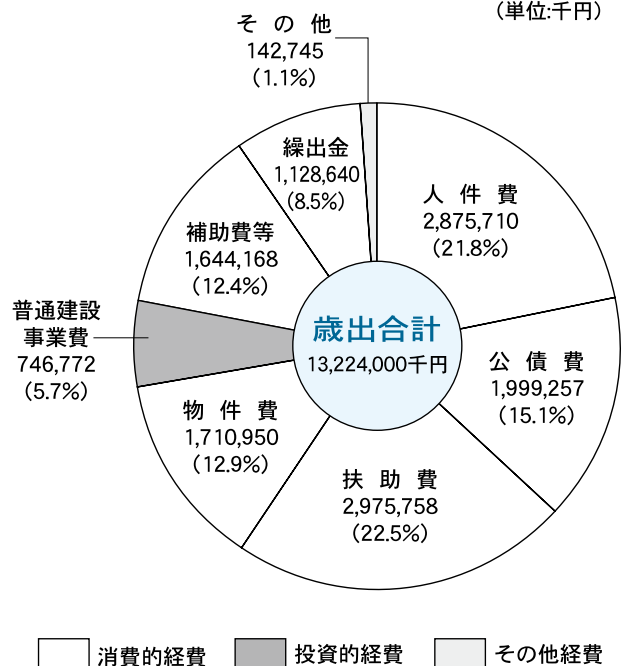
☆農林水産事業 2千300万円

☆道路・河川整備事業 1億2千200万円

☆環境衛生整備事業 2千500万円

一般会計歳出(性質別)の状況

(単位:千円)



特別会計予算

【競輪事業特別会計】

地方公共団体の財政資金の調達を目的として設けられている収益事業です。累積赤字解消のため、収支改善計画に基づき、経費節減等の取り組みを推進しています。前年度比10.1%の減となっています。

【土地取得事業特別会計】

3%の増となっています。公共用地を先行取得するために必要な事業です。前年度予算と同額となっています。

【介護保険特別会計】

介護保険制度を社会全体で支えるための特別会計です。前年度比0.8%の減となっています。

【後期高齢者医療特別会計】

原則75歳以上の方が加入する医療制度です。県下の市町村が加入する広域連合への納付金を支出します。前年度比16.4%の増となっています。

【公共下水道事業特別会計】

社会資本整備の一翼を担う事業で、生活排水や雨水等をきれいにして海域等に放流することで、河川や海域の水質を保全し、環境美化の推進に役立っています。金磯南雨水ポンプ場建設事業、金磯2号雨水幹線整備事業の事業進捗